

おかなみ

広報誌
第42号

社会医療法人 畿内会 岡波総合病院
平成29年4月発行

**医療安全にゴールはない
あの手この手で安全性向上を**

副院長(医療安全管理委員会委員長兼任) 家村 順三

悲しみよ こんにちは

循環器科部長 石瀬 卓郎

**そこには、かっこいいママのすがたがありました
～母の職場で看護師体験～**

平成28年度 患者満足度調査結果

医療安全にゴールはない あの手この手で安全性向上を

副院長 (医療安全管理委員会委員長兼任) 家村 順三

スペースシャトルは約200万個の部品で組み立てられていて、10000個に1個(=万が一にも)不良部品があった場合、200個の不具合をかかえたまま宇宙を飛ぶことになる。組み立て作業にもミスは存在するので、さらにリスクは上がることになる。このためNASAは個々の部品と組み立て作業の精度向上に血道をあげたという。1~2万個に過ぎない(?)自動車でも毎年のように何らかの異常からリコールがなされている。不良品を作らない製造機器はなく、ミスを犯さない人もいない。

病院医療はどうであろう。「医療に安全はない。行為によってリスクが高いか低いかだけの違い。」と医療安全のエキスパートは話す。人が人に、生身の体に何かを施すのに100%の安全を確保するのは難しい。いかにリスクを低減し、重大事故の発生を防ぐかが医療安全の使命と言える。点滴一つとっても、{適応を判断する、処方をオーダーする、点滴薬をそろえる、混合する、点滴チューブに満たす、投与すべき患者様のところに運ぶ、接続する、決められた時間に決められた投与量を決められた速度で投与する、}など多くの行程があり、それぞれに間違える可能性が潜んでいる。薬の処方と配薬、食事や身の回りの介助、放射線撮影、検体検査や生理検査、アレルギー体質の人のための調理、患者搬送、リハビリ、などなど院内には多岐にわたる作業があり、いくつもの工程を経る。その分だけ何らかの間違いは起こりうる。人はミスするものであるから致し方なし、では済まされない。当院では月に80件程度の医療安全に関する事象報告(インシデントレポート)があげられるが、多くは患者様に深刻な被害をあたえるものではない。思い込み、勘違い、ケアレスミスが原因のほとんどを占める。同規模の病院と比較すると報告件数は少ないが、見過ごされているものがまだあるのかもしれない。

予防策は種々講じているが、なかでも指差し呼称とダブルチェックの習慣化を推進している。前者は個々で、後者は他者の眼で確認を行い、行為の安全性を高めるものである。指差し呼称は、頭の中の回路だけでは確認作業が抜け落ちることがあるので、手の動きと発声の2つの脳からのout putと視覚と聴覚からのin putによる確認回路を設けて、ケアレスミスを防ごうというもの。ダブルチェックとは他者の眼で確認作業を重複して行って、事故を未然に防ぐ手段。それでも残念ながら、それらをすり抜けて過誤事象が発生することもある。

最近の医療現場では他職種連携が重視されているが、それとともに患者様自身が医療チームの一員という考え方が広まってきた。この観点から医療安全でも患者様やその家族の方にご参加願うことにしたい。看護師が指差し確認していなければ、臆せず「あんた指差し呼称せえへんかったんちゃう」と指摘していただく。配薬された薬が昨日と違っていたら、「これホンマに自分のかあ」と聞いていただく、など。患者様に不信感を持たれては医療スタッフも患者様もともに不幸であり、理想の医療からは遠のいてしまう。しかし、盲目的信頼関係もまた危険をはらむ。間違ふこともあるから確認しとこう、という気持ちを患者様や家族の人にも持っていただいて、医療事故防止の一助にしたい。

このような提言をすれば、スタッフからは反感をかうかもしれない。いわく「患者様から監視されているみたいで仕事しづらい、先生は私たちが信頼してない、」云々。ちょっと二の足を踏むところではあるが、安全性向上のためにはしかたない。本来、安全管理委員長は周りから疎まれるものと相場が決まっている。人生哲学とはちょっと状況は違うけど、最近はやりの心理学者アドラーも「嫌われる勇気」を提唱していることであるし。

● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、『人間としての愛』の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

1. 私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
1. 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
1. 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
1. 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

1. 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
1. 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をうけることができます。
1. 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めることもできます。
1. 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
1. 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
1. 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

悲しみよ こんにちは

循環器科部長 石瀬 卓郎

今年の冬は例年になく雪を見る日が多かったように思います。執筆時にはようやく寒さも峠を越えたところで、暖かな春を迎えるのが楽しみです。

さて、冒頭のタイトルは知る人ぞ知る名作アニメ【めぞん一刻】の主題歌です。『ふいにやってくる悲しみに対しても友達を迎えるように笑ってみせるわ』と歌っている私の大好きな曲です。

岡波総合病院循環器科ではこの冬、狭心症、心筋梗塞、心不全といった心血管疾患から肺炎など感染症、おもに心原性に発症した脳梗塞などの疾患を中心に患者さんの加療にあたっております。昨年からの試みとして、比較的症状がとぼしく経過しているけれども虚血性心疾患など動脈硬化疾患のハイリスクな患者さんに対して、大病を患う前に発見するための心血管スクリーニング検査をおこなっております。まだ、軌道にはのっていませんが、最近では内科外来スタッフが中心となって、あたま、しんぞう、かし(下肢)の頭文字をとって「【あしか】疾患の予防」として多くの患者さんへの啓発を活発にさせていただいており、ありがたくも頼もしく思っています。

患者さんには、元気に家族のもとにお戻りいただく、社会復帰をしていただく、安心して介護施設などへお戻りいただけるようにと日々の診療に努めているところです。しかし、2030年には伊賀市の人口は70000人まで減少するとの予測があります。全国にさきがけて高齢化がすすむ現状であり、この冬にも残念ながら治療への反応がとぼしく不幸な転機をとることとなった患者様もいらっしゃいました。

その状況をいかに受け入れていただくかということは大変重要であるということは臨床の場で日々痛感しています。しかし、患者さまやご家族様の心の機微にふれるための教育は、少なくとも医師の教育においては必ずしも重視されてこなかったように思います。少なくとも私は、医師は科学者たれ、情緒的である必要はないと教わってきました。であるならば、感情を持ったドラえもんの登場を待つまでもなく、将棋や囲碁のようにAI【人工知能】が人間を上回るのは時間の問題かもしれません。医療に関わる知見に限らず、職種間、患者医療者間を越えて、得られるもの、与えられるものはお互い共有して高めあっていけたらと思います。

春は出会いと別れの時期です。当院でも長く活躍され、多くの方を救ってこられた方の退職があり、また新たなメンバーたちの入職もありました。多くの喜びがあるとともに、多くの悲しみもあるのですが、できるだけ多くの方がその悲しみをも笑顔で迎えられるようになればと切に願っています。

新任医師
の
紹介

内科
いけのやま ようへい
池之山洋平医師
平成29年4月1日付

「毎日が未来への分岐点」

～三重県キャリア教育フォーラム～

平成28年度職場体験等受入事業所として当法人が三重県教育委員会委員長より感謝状贈呈を受けました。職場体験やインターンシップ等により児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対して贈られるものです。



書籍「マイスターから学ぶ 皮膚科治療薬の服薬指導術」

(メディカルレビュー社出版)

に、当院薬剤部の 森川拓薬剤師が執筆しました。

軟膏の効果や、塗る回数・塗る量に疑問に思ったことはありませんか？そのような質問に対し、森川薬剤師が、褥瘡・皮膚潰瘍治療薬の分野を解説しています。本書は、外用薬を中心とした皮膚科治療薬の選択、使用方法から患者さんへの服薬指導のポイントまで、日常業務ですぐに役立つ内容が満載です。



そこには、かっこいい ママのすがたがありました

～母の職場で看護師体験～



小学2年 山 遥太くん
 母は、はじめに声を出して、かんがえてしゃべると言っていました。かっこいいこと、かっこいい名前をかっこいいこと、はじめにしゃべりました。(薬のこと)人の目を見てしゃべると言っていました。はじめにしゃべりました。
 ママは、いつもおひるまで、すわっていないので「おひる」ともいっていました。かんじやさんに、たいおんけいをわたせてうれしかったです。
 はじめて、おいしゃさんのふくも、まきれてうれしかったです。もうちょっと長めに、たいけんを試してみたいです。

小学2年 殿本 奈央ちゃん
 わたしは、ママのはたらいている、おかなみびょういんへ半日体験へ行きました。わたしは1ばんうれしかったことは、わたしにピッタリのナースぶくをよういしてくれてくれたことです。ナースぶくをきたら、かんごさんになった気分でした。
 ママは、ねつやけつあつをはかったり、ふくをさがえさせたり、車いすにかんじやさんをのせてあげたりしていました。ママもほかのかんごさんも、休むまもなくテキパキうごいていたので、かっこよかったです。
 わたしは、かんじやさんがのっている車いすをおしてあげました。かんじやさんが「ありがとう」と言ってくれたのでうれしかったです。
 あと、かんじやさんと、お話をしました。耳がとおくて話すのが大へんだったけど楽しかったです。



薬剤部だより

くすりの副作用

くすりを飲んで、気になる症状はありませんか？

薬剤部 山本 豊子

くすりには期待する作用の他に、期待しない作用…副作用があります。『副作用』と言うと、一般には好ましくない作用をさしていることが多く、軽い症状も含めれば、副作用の無いくすりは無いと言われています。

もちろん、すべての人に起きるわけではなく、起きても軽いものが多いのですが、くすりによっては、腎機能・肝機能障害、全身性の重篤な皮膚症状といった、重大な副作用が起きることがあります。そのような副作用になるべく早く気づき重篤化を防げるよう、情報提供を行い、また使用後の有効性・安全性を確認するのは、薬剤師の使命と考えています。副作用に早く気付くためには、患者様からの『何か気になる』症状の訴えがとても有用です。くすりを飲み始めて、又は飲み続けていて、気になる症状はありませんか？いつもと違う！と思ったときには、是非ご相談下さい。

副作用の早期発見のためのチェック表

① 皮膚の症状 A. かゆい C. 皮膚が黄色くなった B. 皮膚が赤くなった D. ブツブツができた	⑤ お腹の症状 A. 吐き気や嘔吐がある C. 食欲がない B. お腹が痛い D. 水のような便が出る
② 目の症状 A. かすんで見える C. 白目が黄色くなった B. 目が痛い D. 目が充血した	⑥ 呼吸や胸の症状 A. 息苦しい C. 心臓がドキドキする B. 咳が出る D. 胸が痛い
③ 尿の症状 A. 尿が赤くなった C. 尿の量が増えた B. 尿の量が減った D. 排尿時に痛みがある	⑦ 血液の症状 A. 鼻や歯茎から出血した C. 尿に血が混ざる B. 皮下出血がある D. 便に血が混ざる
④ 手や足の症状 A. 手足がふるえる C. 手足がしびれる B. 手足が痛い (筋肉や関節が痛む) D. うまく歩けない	⑧ 全身の症状 A. 熱が出た C. 体がだるい B. 体がむくむ D. 汗が出る

(山口大学医学部附属病院 古川裕之先生 引用)

褥瘡対策&NST委員会

褥瘡に役立つ豆知識

「車いすとロホクッション」

作業療法士 伊藤 仁

皆様は臀部の褥瘡が発生しての車いす座位などの離床は困難であると思いませんか？通常の車いすでは、座る事で座面のたわみが張り、坐骨結節(おしりから容易に触れる骨)に圧迫点が集中します。この状態が長時間続けば褥瘡が悪化します。ソフトナースでは圧迫点を一時的に解消ができて、長時間使用は対応していません。更にはせん断応力がソフトナースでは上がり、褥瘡が広がる事やポケットを作ってしまう可能性もあります。今回はロホクッションという商品の紹介をします。ロホクッションは脊髄損傷や神経疾患などの車いす生活を送る方でも使用されています。圧分散能力が高く、長時間座位をとっても臀部の痛みが出現しにくい特徴があります。ウレタン素材などとは違い、エアセルといわれる高さ10cmの小さな風船のようなものが8×8個あり座面を支える商品です。空気で支えるため、長時間座っていても変形せず、圧分散が一点に集中する事もありません。体動で動いたとしても、空気がエアセル内を移動し、最適な圧分散が常時行えます。欠点としては、座面が不安定・空気量の定期的な管理が必要です。また、空気調整も難しいため、使用を検討される方は理学・作業療法へ相談してください。



突撃インタビュー



手術室看護師
首藤千浩(7年目)



小・中・高から看護学校、そして就職も伊賀上野。天神祭が近づくと血がさわぎます。

高校卒業後の進路に迷った末、昔からよく知る“おかなみさん”で看護助手に。医療の世界にふれるうちに「もっと患者さんに関わりたい」と思いはじめ、附属の看護学校に入学して看護師になりました。

小中高時代の友だちとは今でも仲良し。仕事が忙しいときも、みんなの顔を見ればすぐ元気になります。伊賀の一大イベント「上野天神祭」も、僕の人生になくてはならないもの。看護学校時代は、学生が全員参加でおみこしを担ぎました。今も祭りの時期が近づくと血がさわい

で、祭り当日はどんなに疲れていても、同僚たちと鬼行列やだんじりを見てから帰ります。伊賀を出ることは考えたことないですね。見慣れた城下町も、ホテルの舞う田んぼや満天の空も自分の一部のようなもの。この土地にいるから頑張れるんじゃないかな。

患者さんと話をしていると、自然に伊賀弁になるんです。手術前の不安や緊張も、伊賀弁でほぐれていく気がしますね。地元で育った

自分らしく、この街の医療の役に立てればと思っています。

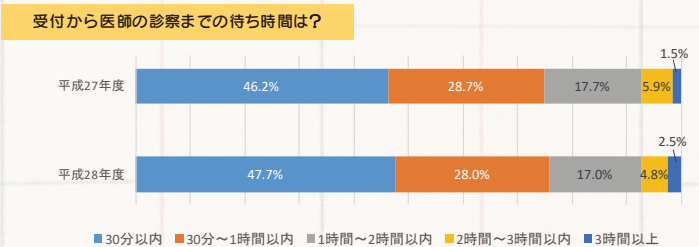
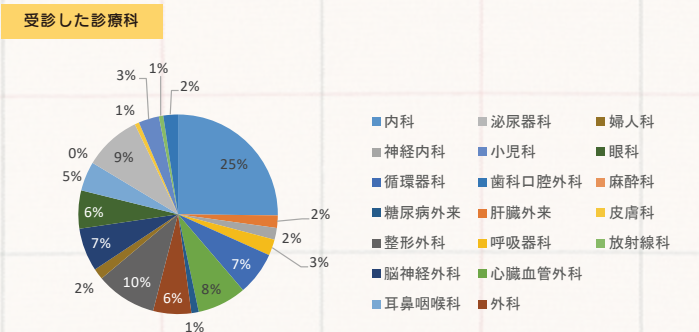
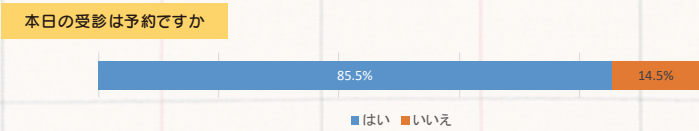
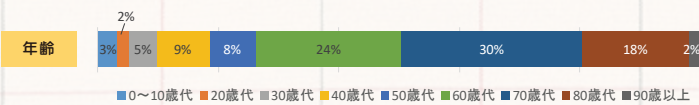
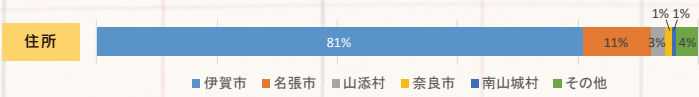


平成28年度 患者満足度調査結果 《外来患者調査》

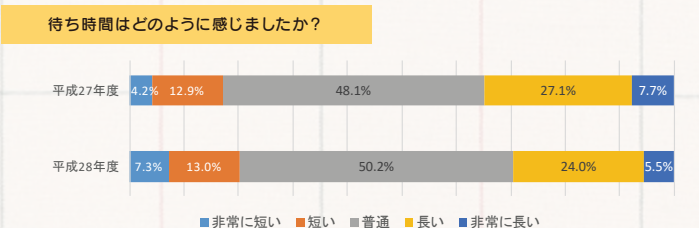


畿内会サービス向上委員会

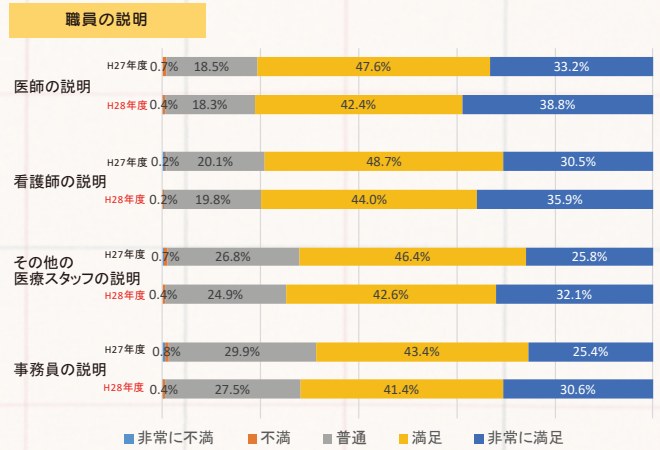
実施期間：平成28年11月14日(月)～11月18日(金)
対象者：実施日にご受診された患者様(回答数のべ857名)
配布方法：会計待ち時間中に直接手渡し配布



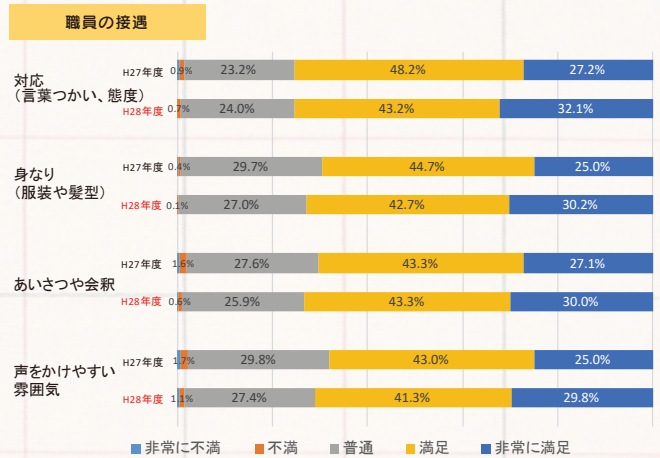
すべての診療科において再診予約制をとり、待ち時間短縮に努めているところですが、依然25%の患者様に1時間以上という長い待ち時間を発生させている状況です。



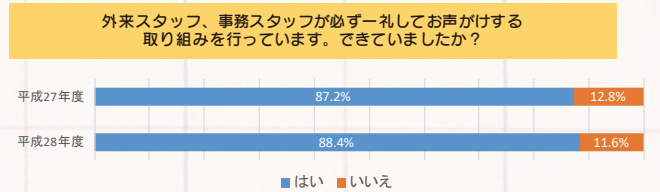
今年度、長時間待っていただいている患者様へのお声かけなどに努めており、「長い」、「非常に長い」と感じられた患者様の減少につなげることができました。しかしまだ多くの患者様に待ち時間のご負担を強いている現状であり、ひきつづき待ち時間軽減策について検討してまいります。



昨年度にひきつづき各職種、おおむね説明の分かりやすさにおいて納得をいただいている状況です。



接遇面の全般において良い評価をいただきました。今年度より職員の「身だしなみ統一基準」を作成し、職員の意識向上に努めてまいりました。身なりに対し、「満足」、「非常に満足」の方の割合が増加する結果となり、その効果を実感しております。



「必ず一礼」の取り組みは昨年度以上の評価をいただきました。ひきつづき100%をめざし徹底してまいります。

対応面で気になった点
53件のご意見のうち44件が改善を要する内容でした。そのうち22件は、それぞれ特定の部署の接遇や対応の悪さを指摘するもので、ただちに部署長を通じ、改善・指導を行いました。

当院に対するご意見
158件のご意見をいただきました。そのうち、26件は感謝やお褒めのお言葉でした。そのほか改善や提言、ご要望内容を分類すると
①駐車場に関すること…46件
②診察待ち時間に関すること…13件
③職員の接遇に関すること…6件

重要性・実現可能性などを充分検討し、改善を進めてまいりたいと思っております。しかしながら建物の老朽化や立地面での条件から、困難な課題が多くあることも事実です。実現可能なものの検討や職員の工夫やアイデアを出し合う活動、特に接遇面での質向上に重点を置いて今後も取り組んでまいります。

平成28年度 患者満足度調査結果 《入院患者調査》



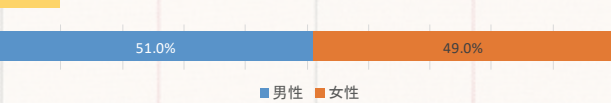
畿内会サービス向上委員会

実施期間：平成28年11月1日(火)～11月30日(水)
対象者：実施期間中にご退院された患者様(回答数のべ201名)
配布方法：退院患者様およびご家族様に直接手渡し配布

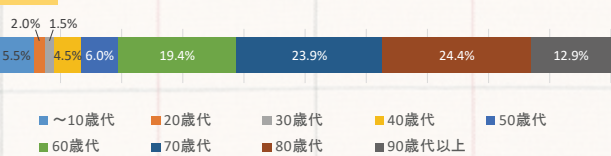
住所



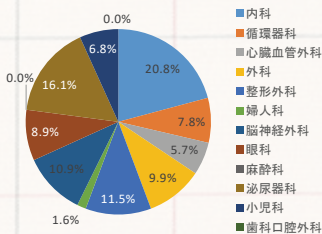
性別



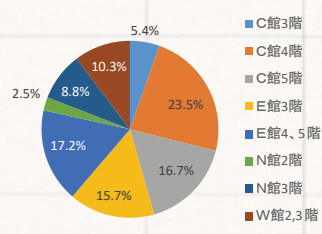
年齢



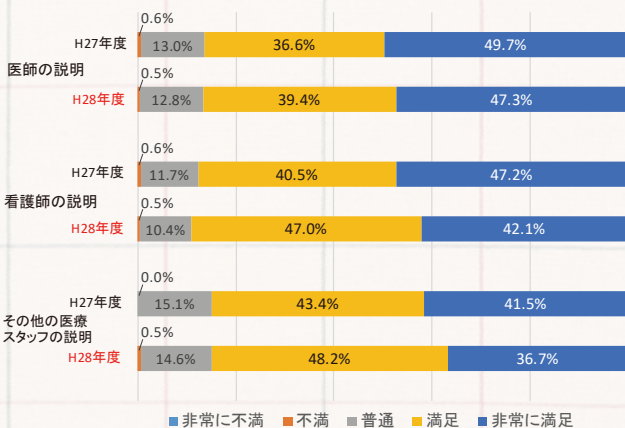
入院した診療科



病棟

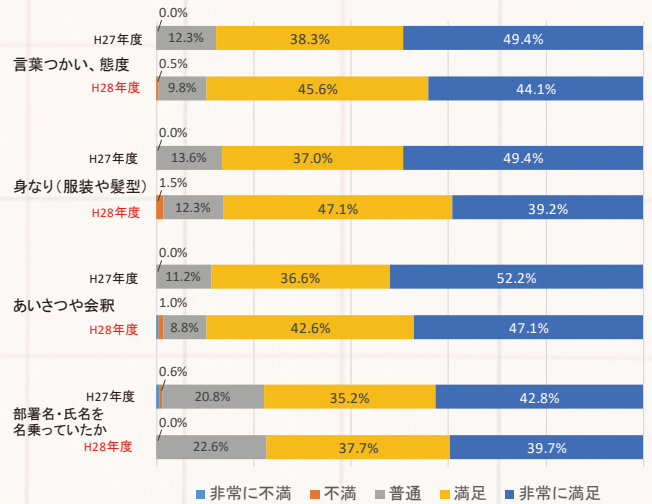


職員の説明



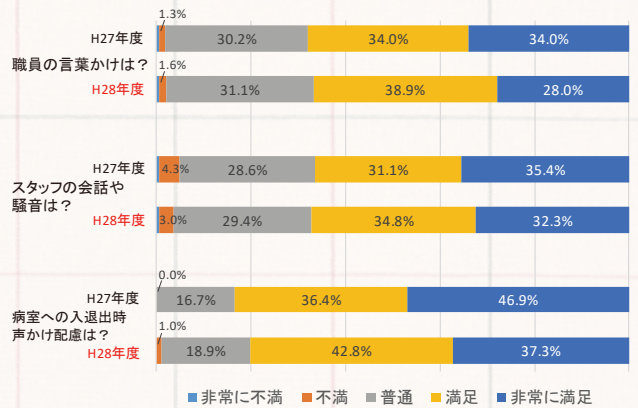
各職種、説明の分かりやすさにおいておおむね満足をいただいている状況です。

職員の接遇



接遇の全般においてもおおむね満足をいただいています。しかし「言葉づかい・態度」、「身なり」、「あいさつ・会釈」の3項目で、平成27年度「不満」、「非常に不満」と答えた人は0%でしたが、今年度1%前後の人が不満に思われていました。接遇面での指導の徹底が必要であると考えています。

療養環境



安心して快適な療養環境づくりには、プライバシーや騒音への配慮は特に重要であると考えています。それぞれの項目で一定の評価をいただいておりますが、会話や騒音については、約3%の患者様が不快に感じておられます。いま一度注意、指導を行い、不快に思われる患者様ゼロを目標に取り組んでまいります。

職員対応面で気になった点

- 28件のご指摘をいただきました。
- ・身体をふく方法が看護師さんによって異なる。
 - ・髪の毛の長い看護師さん、きれいに束ねてください。不潔感もちます。
 - ・スタッフ全員がバタバタ忙しくて聞きたいことがあっても対応してもらえない。
 - ・患者に「すみません」という言葉が多かった。「協力ありがとうございます」がよい
 - ・私語はナースステーションのドアを閉めて話してほしい。
- などです。
- 記述による具体的なご指摘は、それぞれ職員、各部署へ伝え、改善に役立ててまいります。

当院に対するご意見

- 49件のご意見をいただきました。そのうち、14件は職員へのお褒め、感謝、激励のお言葉でした。ありがとうございます。そのほか改善や提言、ご要望内容を分類すると
- ①療養環境(騒音、温度、におい)に関すること…7件
 - ②駐車場に関すること…6件
- そのほかのご意見
- ・面会礼は病棟で返すようにしてほしい
 - ・看護師さんたち、もう少し時間の余裕があればいいのに。
 - ・面会時、主治医と会って話を聞きたいと思うがなかなか会えない。
- などです。

おかなみ 出前講座

社会医療法人畿内会 岡波総合病院
地域医療連携室
Tel:0595-21-3154 (直通)
Fax:0595-21-3145 (直通)

お問い合わせは
こちらまで
ご連絡ください。



平成28年
12月1日 東部女性部 様



テーマ
**高血圧と
脳卒中の関係性**

講師
理学療法士
稲増真利、谷口碧

平成28年
12月1日 伊賀上野ライオンズクラブ 様



テーマ
**もしかして
自分も糖尿病？**

講師
看護師 佐小真生

平成28年
12月5日 三重県退職女性教職員の会伊賀支部 様



テーマ
**認知症にならずに
いつまでも元気で
生活するために**

講師
老人看護専門看護師
市川智子

平成28年
12月8日 上野商工会議所 様



テーマ
トロミの話

講師
管理栄養士
橋本啓子、平林美和

平成28年
12月8日 石打老人クラブ 様



テーマ
**「かかりつけ医」って
なぜ必要？**

講師
地域医療連携室
鈴木努

平成28年
12月9日 諏訪社会福祉会 様



テーマ
**認知症に
ならないために**

講師
老人看護専門看護師
市川智子


平成28年
12月13日 山出区ほほえみ教室 様



テーマ
**高血圧と
脳卒中の関係性**

講師
理学療法士
尾原ひとみ、柘植貴太


平成28年
12月22日 希望ヶ丘はつらつ会 様



テーマ
がん予防

講師
がん看護専門看護師
中凜子

平成29年
1月6日 新堂にこここOB会 様



テーマ
**膝の自宅で
できる体操**

講師
理学療法士
林真衣、清水恒良

平成29年
1月18日 川東いきいき教室 様



テーマ
**高血圧と
脳卒中の関係性**

講師
理学療法士
稲増真利、田中千晴

平成29年
1月23日 御代ほほえみ教室 様



テーマ
**認知症に
ならないために**

講師
老人看護専門看護師
市川智子

平成29年
1月25日 月見会 様



テーマ
**寝たきりに
ならないための
基礎知識**

講師
作業療法士 山内雅之


平成29年
1月27日 上阿波老人クラブ 様



テーマ
**脳卒中予防に
ついて**

講師
脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師
東雲洋美

平成29年
2月9日 新堂きらく会 様



テーマ
**飲み込みと
言葉のための体操**

講師
言語聴覚士 鈴木真由


平成29年
2月17日 社会福祉法人東海宏和福祉会 様



テーマ
**移乗動作・片麻痺
患者さんの関わり**

講師
作業療法士
伊藤仁、狩野英明

平成29年
2月20日 ほがらかクラブ(川西老人会) 様



テーマ
**膝の自宅で
できる体操**

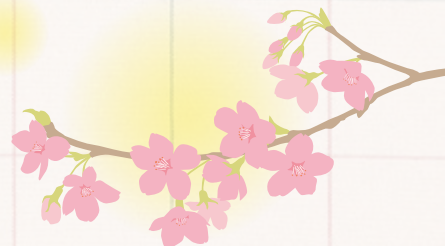
講師
理学療法士
清水恒良、林拓

平成29年
2月28日 緑が丘シニアクラブ(みどり会) 様



テーマ
**いつまでも元気で
生活するために**

講師
老人看護専門看護師
市川智子



今年も伊賀駅伝に参加しました!

第57回伊賀地区駅伝大会に男子チーム(T E A M岡波さん)、女子チーム(岡波総合病院陸上競技部)が出場。女子チームは1区3区が区間賞を獲る快走をみせましたが、惜しくも準優勝!男子チームも52チーム中15位と今年も大健闘でした。

ご声援ありがとうございました。



リハビリ通信

ご自宅でも専門的なリハビリが受けられます!

訪問リハビリテーションをご存じですか?

理学療法士 眞衣

訪問リハビリテーションでは、病気やケガ、加齢によって、外出や通院が難しくなった方に対して、専門スタッフ(理学療法士、作業療法士等)が、生活の場にお伺いして、医療機関では行うことができない生活場面に合わせたリハビリプログラムを立て、安全な生活と社会参加を支援します。

具体的にはこのようなことをします

- 病状の観察:バイタルチェック(体温、脈拍、呼吸、血圧等)、病状の観察、精神面の健康状態の確認と再発予防のための助言。
- 心身機能アプローチ:動かし辛くなった身体をほぐしたり、実際に起きたり立ったり、歩く時など、より安定した動作を行えるよう練習。
- 日常生活動作:食事、排泄、入浴、更衣、整容など日常的な動作の動作練習や介助指導。
- 住環境の整備:手すりの位置や段差への対応の仕方、杖などの福祉用具の相談。
- 心理的サポート:意欲が低下しないようなサポートや、ご家族が抱える身体的・精神的な負担などの相談。
- 発語アプローチ:失語症(脳卒中などにより話す・聞く・書くことが難しい)に対して状態に応じた練習。

ご自宅でお困りのことがありましたら、相談ください。

社会医療法人 畿内会

岡波看護専門学校

本校は、“楽しい看護のはじまり”をキャッチフレーズに、質の高い看護師教育を目指しています。定員20人制ということもあり、その場に応じた細やかな指導にて、学生たちが理想とする看護師像に近づけるようにサポートしています。

学生は、いきいきと学内での学習を実習で活かしながら、看護師になるために知識・技術・態度を学んでいます。ときには、悩むこともありますが、教員や先輩に相談して解決しています。

学校行事や学校生活の様子はホームページに掲載しています。本校のホームページでは、入試情報や日々の学校生活の様子や臨床実習での学びをニュースとして、みなさまにお知らせしています。ぜひご覧ください。



平成29年2月19日に第106回看護師国家試験を大阪府の桃山学院大学にて受験しました。2月28日には、病棟の指導者や看護師と1年生に模擬患者になってもらい、モデルを活用し多重課題に対応する統合看護技術確認試験を行いました。しっかりと看護における安全・安楽・安心の重要性を再確認しました。3月1日には防災訓練の一環として非常用保存食アルファ米炊き出しセットの五目御飯50食分を3年生の学生が作り、非常事態に備え、訓練しておくことの重要性を実感しながら実食しました。平成29年3月8日、3年生が卒業しました。4月からは、看護師としての一步を踏み出します。そして4月7日には入学式を行い新入生を迎えます。

看護学実習では、患者さんをはじめ家族の方々、地域の実習施設の方々にご協力いただきありがとうございました。みなさまのご協力で感謝しております。今後も学生教育のために、みなさまのご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

資料請求・学校見学は、随時受け付けていますので、電話かホームページから学校へお問い合わせください。(見学の日時を調整させていただきます)

社会医療法人 畿内会 岡波看護専門学校

〒518-0842
三重県伊賀市上野桑町 1734 番地
TEL&FAX 0595-21-3138
E-mail oka-ns@ict.ne.jp
URL <http://okanami-kango.ac.jp/>

